



我が国では2025年に、5人に1人が75歳以上となる超高齢社会を迎え、人口減少などの大きな労働力不足が生じることが懸念されております。そのような状況において、女性の活躍はますます重要になってまいります。

しかし、女性を取り巻く環境は様々であることから、「ワークライフバランス」を重視した改革が必要であり、男性も家事・育児に積極的に参加し、女性の働き方を尊重していくことが大切であると考えております。

また、職場や社会においては女性の個性や能力を活かすため、いきいきと働ける環境を整備していく必要があると考えております。

北海道市長会 会長 菊谷 秀吉（伊達市長）

伊達市では、女性職員を対象にしたキャリアデザイン研修などを実施しており、自らの働き方を見つめ直し、自分の描くライフワークバランスを実現してもらうための研修を行っております。

また、職員の超過勤務の縮減や休暇取得の向上など、職場全体で働きやすい環境を考え、整えていきたいと考えております。

さて、道内では今年10月に苫小牧市で「日本女性会議」が開催されます。道内初の男女平等参画宣言都市として、男女がともに生き生きと暮らせる社会を実現するために、男女平等の在り方について北海道から見つめ直し、北海道から男女平等社会を変革していく大きなチャンスになるのではないかと確信しております。

北海道市長会について

北海道市長会は、道内35市の市長により構成する団体で、道内各市間の連携・協調を図り、市政の円滑な運営に寄与することを目的に活動しています。

主な事業としては、共通する行政課題に関する調査研究や政策提案、国等の関係機関への働きかけなどを実施しており、引き続き、北海道の発展に貢献できるよう力を尽くしてまいります。